

## 2. 文部科学省 エントランス展示企画

### 「石炭、石油、電池に続く第4世代ビークル」

未来ビークルシティリサーチセンター センター長

低炭素社会と産業育成コア長

電気・電子情報工学系 教授 大平 孝

文部科学省庁舎のエントランスホールにおいて、平成29年1月4日（水）から平成29年2月22日（水）の期間、「石炭、石油、電池に続く第4世代ビークル」と題し、企画展示を実施致しました。

電気自動車は依然として「走行距離が短い」「バッテリーの充電時間が長い」という課題があります。本学では、電気自動車の課題に対する取り組みとして、電化道路電気自動車を（EVER）を開発しています。今回の展示では、バッテリーレス電気自動車の模型が、道路インフラから高周波エネルギーを受けて走行する様子をご覧頂きました。

また、これに関連して、平成29年1月13日（金）、文部科学省情報ひろばラウンジにおいて、「石炭、石油、電池に続く第4世代ビークル：走行中給電の7秘訣」と題して技術説明講演会を開催致しました。EVER 実現の鍵となる技術・仕組みについてわかりやすく説明すると共に、講演会終了後にはこの技術に関連する動態デモ展示を実施致しました。この講演会には22名（学外16名、学内6名）が参加し、質疑応答においても活発な意見交換がなされました。

最後に、この企画展示を実施するにあたりご協力頂きました関係者の皆様に御礼申し上げます。

#### 【主な展示物】

##### ○実物展示

- ・電気バスシステムのジオラマ展示

##### ○映像

- ・バッテリーレス電気自動車の給電走行を実現する技術の解説
- ・豊橋技術科学大学等の紹介

##### ○パネル展示

- ・豊橋技術科学大学の紹介
- ・ジオラマの解説



# 文部科学省 企画展示イベント 「石炭、石油、電池に続く第4世代ビークル」

環境にやさしい乗り物である電気自動車。最近では航続距離が長い車種も開発されてきています。しかし依然として、バッテリーの充電時間が長すぎるといふ課題が未解決です。もし電気自動車のようにインフラから直接エネルギーを受けながら走行できれば、バッテリー問題の解決に大きく寄与できます。この講演では、路面に埋設した鉄板から電気を受けながら走行する新しい電気自動車の構想を紹介します。また、しくみと原理の説明に加えて、模型を用いた動態デモ実演も行います。

日 平成 **29** 年 **1** 月 **13** 日 (金)

時 **13時30分**～**14時30分**  
(受付：13:00～)

場 所 文部科学省  
情報ひろばラウンジ  
(旧文部科学省庁舎1階)

申込先・お問合せ 豊橋技術科学大学  
未来ビークルシミュリサチセンター  
(研究支援課センター支援係)

TEL：0532-44-6574 e-mail:rcfvc@office.tut.ac.jp

※参加を御希望の方は、1.参加者（複数の場合は代表者の氏名）、  
2.参加人数を明記の上、メールでお申し込みください。

※定員に達し次第締め切らせていただきます。

## 講演者

豊橋技術科学大学 教授

未来ビークルシミュリサチセンター長

# 大平 孝

